



予算の使い道について、南丹市の将来の道しるべとなる総合振興計画の、基本計画の第1章から第4章に分けて事業を紹介します。

# 予算の使い道

## 一般会計の主な事業を紹介します

●=前年度からの継続 ○=拡充など ○=新規 (単位未満四捨五入)

### ○地域子育て支援センター事業

469万円

子育てすこやかセンターを八木、日吉および美山地域に拡充し、地域のボランティアの協力を得ながら、子育て世代の相談や情報の提供、地域の子育てサークルなどの育成を行います。また、家庭での育児を支援する児童のショートステイなどの子育て短期支援事業を実施します。



▲子育てすこやかセンター (園部町小桜町)

### ●すこやか医療給付費

3,600万円

医療費のうち1カ月1医療機関200円を控除した額を、支給申請者に対して助成します。

### ●すこやか手当支給事業

4,885万円

市内に3年以上居住されている方の児童出生時から満5歳までの間、月額で第1子につき3千円、第2子につき4千円、第3子以上は6千円の手当を支給します。

### ○麻しん風しん(MR) 予防接種3期・4期

754万円

中学1年生と高校3年生の年齢にあたる方に対し、麻しん風しん(MR) 予防接種を実施します。

## 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る

### 子育て支援

#### ●子宝祝金事業

2,410万円

市内に3年以上居住されている方の出生時に第1子は5万円、第2子は10万円、第3子以上は30万円の祝金を支給します。

#### ●入学祝金事業

2,770万円

市内に3年以上居住されている方の児童、生徒が、小・中学校に入学時それぞれ5万円の祝金を支給します。

#### ○発達支援センター改修事業

5,161万円

川辺保育所を「南丹市発達支援センター」として改修し、発達相談、早期支援、療育事業を一体的に実施するとともに、障がいのある児童の在宅福祉サービスを提供し、地域で安心して生活が送れるよう支援します。



▲現在は休園中の川辺保育所 (園部町)